

平成27年 4月15日

様

志摩市長 大口 秀和



「碧志摩メグに関する意見書」の回答について

平成27年4月8日に受領した碧志摩メグに関する意見書について、下記のとおり回答いたします。

記

1、碧志摩メグ作成の戦略的理由

2、作成の経緯

3、キャラクター及び( ) (Maribon 事業部)の選定理由

碧志摩メグは公募ではなく、( )からの提案がきっかけとなり、Maribon 事業部と志摩市観光戦略室が協議を重ね、作成しました。海女文化は志摩市の財産であり、しまこさんと同様に市民に愛されるキャラクターになるようにと海女の設定としました。今までとは違う新たな切り口での誘客及び市内の活性化を目的に作成に至りました。

4、議会への確認

議会への確認は行っておりません。

5、抗議の電話への対応

6、その他クレームについて

観光戦略室では市民の方から直接抗議を受けたことはありません。

7、職員からの反対意見

職員からの反対意見はこれまで受けたことがありません。

8、海女サミットについて

海女サミットについては、海女振興協議会が開催しているものであり、今後の日程等開催についても、海女振興協議会が決定します。

9、企画の停止及びポスター・パネル等の撤去

10、今までのキャラクターにかかった費用

11、インターネット上も含めた完全撤去

碧志摩メグの作成及び運営の予算計上はありません。全て Maribon 事業部が費用を負担しております。なお、碧志摩メグについて撤去等は考えておらず、継続していく方針です。

## 12、碧志摩メグの描写

## 13、海女さんへの冒瀆

意見書で記載頂いたような描写は確認できません。観光戦略室としても「海女」は尊厳すべき職業だと考えております。現役の海女さんやそのご家族の気持ちを害しているという事実に対しては、その意見を参考に今後の展開で対応させていただきます。

## 14、事前のアンケート等

今回の作成は公募によるものではないので、事前のアンケートや海女さんへのヒヤリング等は行っておりません。■■■■の「製作誕生について市民の意見を元につくった」という返答は、名前の一般公募を指していると推測されます。

## 15、ポスター配布時のアンケートについて

アンケートについては、今後の展開をどう望んでいるかを確認するために実施しました。約300名のアンケート結果については、多くの応援の声が寄せられ、批判的な意見は1件もありませんでした。

## 16、デザイン決定までの経緯

上記でも記載しましたが、■■■■からの提案があり、Maribon 事業部と観光戦略室とで協議を行い、キャラクターを作りあげました。市民に愛されるキャラクターになるようにと海女のキャラクターとし、海女業の厳しさを踏まえて海女を目指す若者と設定しました。Maribon 事業部でキャラクターを書きあげ、そのキャラクターについて意見を出し合い、何度も書き直しを行った結果今の碧志摩メグが完成しました。若々しさが出るように海女着をアレンジして、巻きスカートを採用し、上着のボタンには真珠を取り入れました。

## 17、「志摩市公認」について

現在、「志摩市公認」を外すことは考えておりません。

## 18、■■■■の音声ブログへの意見

■■■■の音声ブログを拝聴しましたが、■■■■が述べられているような描写は碧志摩メグには確認できませんでした。

## 19、海女の後継者不足問題について

碧志摩メグを通じて若い方々にも海女業に興味を持ってもらいたいと考えています。後継者不足の背景は「人手不足」と「資源不足」とがあります。自然環境の保全・農林水産業の生産維持を目指すことが、稼げる里海の目標のひとつです。

## 20、巫子さんの要素

赤い帯は巫子さんの要素ではありません。青色の案もありましたが、Maribon 事業部と市との協議の結果赤色になりました。

## 2 1、碧志摩メグの良いところ

## 2 2、反対意見を踏まえて

## 2 3、周辺地域への影響

ポスター配布時に行ったアンケート結果でも「志摩市の観光の担い手として応援している」「孫と同じ名前だから嬉しい」「志摩の活性に繋がるように願っている」等、多くの方々から前向きな意見を頂いております。また、市内の宿泊施設からも外国人に好評だとの声も聞いております。周辺地域への影響についても決して悪いものではないと考えています。また、今回頂いた反対意見については参考にし、Maribon 事業部とも共有した上で今後の展開で対応させていただきます。

## 2 4、ツイッターの運営

ツイッターについては観光戦略室でもアカウントを共有していますが、基本的には Maribon 事業部で運営管理を行っています。■■■■■によると志摩市の方言だけではなく、三重県全域の方言を話すようにしているようです。

## 2 5、ツイッターでのコメントに対して

碧志摩メグをそういった視点で捉えられるのは誠に遺憾です。

## 2 6、イングレスについて

イングレスというゲームは陣地を奪い合うゲームで「ハック」することで陣地を占領します。また、「グリフハック」を行うと通常より多くアイテムが手に入ります。イングレスの画面上には碧志摩メグの顔だけ表示されますので、記載頂いたような事実はなかったと考えています。

## 2 7、志摩市長のフェイスブックについて

碧志摩メグの等身大パネルの展示している場所については、秘書課の三重県ゆるキャラコーナーにあり、志摩市長がコメントしている「知事公室正面」と同場所であると思われます。また、展示についても等身大のパネルについては、一定の期間を過ぎたら撤去する可能性があるものの、小さいパネルについては引き続き展示していただけると確認しています。